

平成28年度 学力向上推進プラン 6年

		学年の目標	学期末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えをもち、友達と意見交換ができる児童を目指します。そのために、自分の考えを書く活動や、グループでの話し合い活動、付箋を使って互いの考えを伝え合う活動を行います。</li> <li>新出漢字の定着(まとめの50問テスト90点以上を8割)を目指します。そのために、間違い直しや再テストなどの復習に重点をおき、合格者に賞状を与えるなどして意欲を高めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでの話し合い活動、付箋を使って互いの考えを伝え合う活動では、自身の意見をもとうとする意識が高まった。また、友達から意見をもらうことで、学習意欲が高まった。協力して学ぶ姿勢が身に付いた。</li> <li>2学期は、学年の9割以上の児童が、90点以上を取ることができた。(再テスト含む) 今後は、新しい言葉で文章が作れるように、日常的に国語辞典を引く、進出漢字で漢字ノートに例文を作るなどの学習が必要である。</li> </ul>
	算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則計算の定着を目指します。そのために、家庭学習や放課後補習教室などで東京ベーシックドリル等のプリントを使い、習熟を図ります。</li> <li>文章問題から、求めることは何かを読み取り、立式することができるようにします。そのために、数直線の書き方を指導し、なぜその式になるのかを説明させて理解を深めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小数や分数の基本的な計算も、分からないところはそのままにせず、既習内容を復習して間違い直しをすることが大切。教科書の巻末に既習内容がまとめられているので、参考にするとよい。</li> <li>数直線や、文字を使った式を使って文章問題を考えようとする習慣が付いてきた。言葉で分かりやすく説明することができる児童も増えてきているので、友達の説明の仕方を参考にし、順序立てて説明するよう指導する。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書量を増やします。そのために、読書貯金箱を活用し、読書量の伸びを自分で振り返りながら意欲を高めます。また、朝学習や家庭学習で図書や新聞を読むことを推奨したり、友達や担任がお勧めの本を紹介したりして、読書に親しめるようにします。</li> <li>ローマ字の定着を図ります。そのために、ローマ字の読み書きをプリントで復習したり、ローマ字でタイピングをしたりしてローマ字を活用する機会を増やします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ読書量を継続して記録しない児童がいるが、読書の時間は集中して本を読んでいる。秋の読書月間では、児童のおすすめの本をカードに書いて紹介し合い、読書の意欲を高めた。3学期のキャリア教育では、将来の夢を実現するために、様々な職業について書かれた図書を読み、情報を集める様子が見られた。今後も幅広いジャンルの図書にふれ、教養を身に付けてほしい。</li> <li>ローマ字をすらすら読むことができる児童が増えた。ローマ字によるタイピングにも少しずつ慣れてきた。</li> </ul>
判断力	思考力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら問題を見出し、自ら解決できる児童を目指します。そのために、授業の始めにめあてを明らかにして、見通しをもって学習に臨めるようにします。また、問題を解決するための手段や方法、まとめ方を自身で選択する機会を作り、学習したことを振り返ることができるノート作りを指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてを明らかにすることで、学習の要点がまとまったノート作りができる児童が増えた。</li> <li>朝の会で、気になるニュースの概要と自分の意見をスピーチしたことで、新聞やテレビのニュースに目を向け、友達同士、意見交換をする場面が見られるようになった。世の中のことを学ぼうとする意欲が育ってきた。</li> </ul>
学習習慣	学習規律	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題の提出率90%以上を目指します。未提出児童には、声をかけ提出するよう指導します。また、宿題に加えて自主学習を推奨し、自らの課題に合わせて学年×10分=60分以上の学習時間を確保するよう指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題の提出率90%以上は達成できなかった。家庭学習週間には、カードやプリントで学習内容が分かるよう工夫したが、1日60分以上やっている児童と、全くやらない児童と、家庭学習の取り組み方に幅がある。宿題を毎朝、自分から提出する児童は、学力も生活態度も安定している。中学校では課題の提出状況が、成績に大きく関係する。課題の内容や、提出期限を自分で管理できるように、連絡帳などにメモを取る習慣をつけさせたい。</li> <li>自主学習に取り組み、互いのノートを見合うことで、ノートのまとめ方を学び合うことができた。</li> </ul>